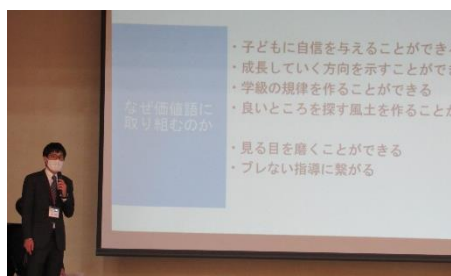
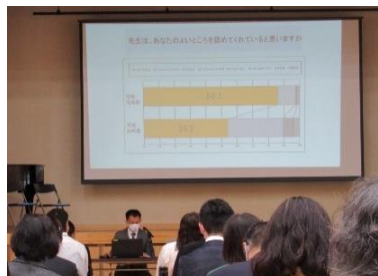


いの町 菊池学園だより (第33号)

伊野小学校研究発表会の全体会では、実践発表、パネルディスカッション、菊池先生の講演が行われました。学校の研究発表会では斬新なパネルディスカッションを取り入れました。「価値語」「ほめ言葉のシャワー」「成長ノート」について3名の先生がパネリストとして登壇しました。

実践発表

パネルディスカッション



濱田先生の実践発表は要点をしばり大変分かりやすい発表でした。

吉良先生は「価値語」について実践を子どもの成長について話してくれました。

県外から伊野小に着任された村田先生は、初めて取り組んだ「ほめ言葉のシャワー」について話してくれました。



河本先生は「成長ノート」を自分の実践である日記に追加した内容を話してくれました。

ファシリテーターの菊池先生が、3つの取組について3人の先生の実践をより深く聞き出して、その手法や目的や価値を説明してくださり、共有できました。

講演 「ほめて、認めて、励ます！豊かな対話を通して学び続ける子どもを育てる」 菊池省三先生



『平成28年度から5年間で約200日以上来町し、200回以上授業をさせていただきました。今日の伊野小での立派な発表があり、パネルディスカッションで代表の3人の先生の一つ一つの取組に対しての思いを聞き、大変嬉しく幸せな気持ちでいっぱいです。一人一人が大事にされて、一人一人がらしさが発揮され、みんなでコミュニケーションとりながら、正解を見つけていく。その取組がこの5年間の菊池学園の取組だと思います。これからの、いの町の教育は、どうあるべきか、考え続けていきたいです。』

豊かな対話を通して、いききと学び合う子どもたちの姿と一人一人の良さをほめて、認めて、励ます先生方の姿から菊池学園事業の成果が感じられました。この5年間で自尊感情を高めていく教育が、町の新たな教育の柱となりました。一人一人の夢を実現するために必要な学力だけではなく、Society5.0、AI化の進む社会を柔軟な心で力強く生き抜く力を持った人間を育てるために、この取組を継続し、その成果と課題を検証・改善を行っていきます。そして、「自分らしさが発揮できる学級づくり」と「少人数による対話のある授業づくり」を通して、主体的・対話的で深い学びを実現してまいります。